



C コマンド

この章では、C で始まる Cisco NX-OS レイヤ 3 インターフェイス コマンドについて説明します。

clear ip arp

Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 情報を消去するには、**clear ip arp** コマンドを使用します。

```
clear ip arp [ip-addr | ethernet slot/port[.sub_if] | loopback if_number | port-channel
number[.sub_if_number]] [force-delete | statistics] [vrf vrf-name | all | default |
management]
```

構文の説明

<i>ip-addr</i>	(任意) IPv4 送信元アドレス。形式は x.x.x.x です。
ethernet <i>slot/port</i>	(任意) イーサネット インターフェイス、およびスロット番号とポート番号を指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
<i>sub_if</i>	(任意) イーサネット サブインターフェイスのポート番号を指定します。有効な範囲は 1 ~ 48 です。
loopback <i>if_number</i>	(任意) ループバック インターフェイスを指定します。ループバック インターフェイスの番号は 0 ~ 1023 です。
port-channel <i>number</i>	(任意) EtherChannel インターフェイスおよび EtherChannel 番号を指定します。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。
<i>.sub_if_number</i>	(任意) サブインターフェイス番号。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
force-delete	(任意) リフレッシュを使用せずに ARP テーブルからエントリを消去します。
statistics	(任意) ARP 統計情報を消去します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) 仮想ルーティングおよび転送 (VRF) コンテキスト名を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
all	(任意) すべての VRF エントリから ARP 情報をクリアします。
default	(任意) デフォルト VRF から ARP 情報をクリアします。
management	(任意) 管理 VRF から ARP 情報をクリアします。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ARP テーブルをクリアする例を示します。

```
switch# clear ip arp
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip arp	ARP に関する情報を表示します。

clear ip interface statistics

IP インターフェイス統計情報を消去するには、**clear ip interface statistics** コマンドを使用します。

clear ip interface statistics

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、IP インターフェイス統計情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear ip interface statistics
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip interface	IP インターフェイス情報を表示します。

■ clear ip interface statistics